



発見地点

竜喰山

飛龍山

60代女性。単独。1泊2日の予定で竜喰山～飛龍山縦走を計画。竜喰山で道迷いし、井戸沢付近で釣り人に遺体で発見された。

次の目的地へ進むには、山頂で看板の前に立ち、直角に右に曲がるように進まなければならない。しかし実際にその位置に立つと、地面に置かれた看板を越えて左手奥、11時の方向にうっすらと獣道ができています。もともと登山客が少ない山のため、釣り師が山頂から沢に向かって歩く道だけ草が踏まれ、正しい登山ルートのように見えるのである。

さらに、登った日は土砂降りだった。おそらく雨具のフードを深くかぶっていただろう。当然、左右の視野は狭められ、しっかりと見回さないと、正しい登山道を見ることはできなかつたはずだ。Yさんは地図を持っていなかつた。おそらく、迷い込んでしまった尾根の先がどんな地形になっているのか知らなかつたはずだ。歩けそうなところを選び、尾根を下り続けたのだろう。あと少しで下りきるところまではたどり着けたが、そこで50メートルほどの高さの崖から沢に落ちてしまったと思われた。（HP参照）

「道が曲がる」、「藪（獣道）」、「雨で視界が悪い」「地図を持っていない」「滑落」。道迷いから遭難への要素が多く含んでいる事例。飛竜山までは稜線のため下るのはおかしい？と思うのだが道迷いの心理はそのまま進んでしまう。そして、崖が出てきても行動が止められず「あと少しで川に下れる」と思ったのだろうか？滑落に至ってしまった。『根拠なく進む行動は遭難への近道』。「あれっ？おかしい？」と思った時が遭難へのターニングポイントとってほしい。